

一般社団法人日本遺伝性腫瘍学会 2023 年度 第 2 回理事会 議事録

日 時：2023 年 9 月 29 日（金） 15:00~18:00

場 所：web 開催（zoom）

出席者： 理事長 石田 秀行
副理事長 青木 大輔 石川 秀樹
理 事 有賀 智之 井本 逸勢 大住 省三 川崎 優子 隈元 謙介 下平 秀樹
西垣 昌和 平沢 晃 平田 敬治 門馬 智之 山口 達郎 吉田 輝彦
監 事 鈴木 眞一 武田 祐子 田村 和朗

司法書士 寺本 俊孝

事務局：石坂 和子 内山 覚巳

Web に理事 15 名、監事 3 名が出席し、出席者の音声が即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態にあり、本会が成立することが確認された。以下、石田理事長が議長となり議事を進行した。

議 事：

【報告・審議事項】

1. 理事長報告

石田理事長より、MGPT に関する厚労科研申請、評議員選出委員会の進捗状況、30 周年記念事業の調整状況、理事会議事録・評議員会議事録の HP 掲載に関する対応、会計事務所の移管ならびにインボイス制度に向けた取り組みについて報告された。

2. 庶務報告

配布資料にもとづき、会員数・新規入会者（2023 年 8 月 31 日現在）、会費納入状況（2023 年 7 月 31 日現在）について報告された。2023 年度の年会費請求の督促は、11 月頃に行う予定である。

3. 第 29 回学術集会報告

杉本会長より、資料にもとづき学術集会・市民公開講座の開催報告、ならびに収支決算書（仮）が報告された。

4. 第 30 回学術集会（2024 年）準備状況報告

下平会長より、記念事業も含めた第 30 回学術集会の準備状況について報告された。

5. 各種委員会報告・審議

①総務委員会・評議員選出委員会：平田理事

配布資料にもとづき評議員の適正按分のための会員属性分類・按分素案について報告された。3 月の理事会までに、タイムスケジュールを決定し 4 月からすぐに学会 HP 内の会員専用ページで会員属性を入力

開始し、評議員選出に関する告示ができるように準備していくこととなった。また、前回理事会以降の通信理事会議事録について報告された。

②財務委員会：青木理事

各委員会で予算再考が必要な案件については余裕を持って計上するよう周知された。

③会則委員会：門馬理事

次回までに市民公開講座の旅費内規に関する規約改定予定である旨報告された。

④編集委員会：下平理事

配布資料にもとづき、「遺伝性腫瘍」の発刊状況、投稿論文審査状況、投稿勧誘予定について報告された。

審議事項として、副委員長の交代について審議され、承認された。

⑤学術・教育委員会：平沢理事

配布資料にもとづき、多遺伝子パネル検査を用いた遺伝性腫瘍の診療・管理指針（仮称）の作成状況、厚生労働科研費がん政策研究事業への申請、市民公開講座実施報告、今後の市民公開講座の予定について報告された。

⑥保険診療委員会：平沢理事

配布資料にもとづき、本学会が内保連の悪性腫瘍関連委員会、検査関連委員会に加入承認されたことが報告された。

⑦専門医・HTC/FTC 制度委員会：隈元理事・川崎理事

●専門医制度小委員会：隈元理事

報告事項：配布資料にもとづき、2023年度の各種申請（第7回遺伝性腫瘍専門医試験、専門医更新、正規指導医申請、2023年度 e-learning の新コンテンツについて報告された。

審議事項：配布資料にもとづき、遺伝性腫瘍研修施設として1施設の認定が承認された。

●HTC/FTC 小委員会：川崎理事

報告事項：配布資料にもとづき、家族性腫瘍カウンセラー（FTC）制度・称号に関するアンケート実施報告ならびに委員会からの提案が報告された。FTCの廃止・永久称号付与ならびにHTCへの一本化・移行措置等について、再度アンケート調査、委員会での検討を行い3月の理事会で審議することとなった。その他、委員会活動報告、認定試験実施予定に関して報告された。

審議事項：HTC規則の一部改定案が審議、承認された。

⑧遺伝性腫瘍セミナー委員会：吉田理事

配布資料にもとづき、第26回遺伝性腫瘍セミナーの開催予定について報告された。第2回アドバンストセミナーの開催予定については詳細検討中と報告された。

⑨将来検討委員会：石田理事長

学術集会のあり方に関して、今後のオンデマンド等の必要性も含めた会員へのアンケート調査結果の集計中であり、集計終了後、第30回学術集会開催の参考として下平会長へ提供し、また3月の理事会で報告されることとなった。

⑩ガイドライン委員会：大住理事

報告事項なし

⑪COI 委員会：大住理事

資料にもとづき、第 29 回学術集会での COI の開示状況について報告された。また、新役員の COI について確認中であることが報告された。

⑫広報委員会：有賀理事

配布資料にもとづき、委員の交代、年間計画、前期ニュースレターの素案、ホームページ更新の進捗状況、転載審査について報告された。

⑬国際委員会・がんゲノム・データベース（GDB）委員会：山口理事

悪性腫瘍に対するマイクロサテライト不安定性検査¹⁾およびミスマッチ修復タンパク質に対する免疫組織化学検査²⁾の利用に関する見解 ver. 2 を更新したことが報告された。

理事長より、下記 2 点に関する委員会での検討依頼の発言があった。

来年度以降のトラベルグラントの復活

日本医学会への加盟要件に関与する国際学会との連携 (Insight Asia や Li-Fraumeni syndrome Consortium の日本部会としての参加)

⑭遺伝カウンセリング委員会：西垣理事

当日資料にもとづき、啓発動画の作成進捗状況、地域連携のための情報交換会について報告された。

審議事項として、「Cowden 症候群サーベイランス手帳」の医学監修依頼について審議され、本学会として医学監修を行うことが承認された。内容については、作業部会委員会（石川理事、Cowden 症候群高山部会長）と連携することとなった。

⑯作業部会委員会：石川理事

配布資料にもとづき、3 つの部会について活動内容が報告された。

審議事項として、PJS 部会の新規申請があり、厚労省班研究（坂本班）と本部会との役割分担等について質疑応答の上、審議・承認された。なお、部会としての学会助成については 2023 年度より助成することとなった。また助成金額について、今後活動状況による増額などの検討依頼があり、どのような条件で助成金を支払うのか等を委員会で検討の上、理事メールで意見交換を行い、審議予定となった。

4. その他

・ 30 周年記念：石川理事

配布資料にもとづき、機関紙への掲載（特集号として）、30 周年記念式典の準備状況、ワーキンググループの設置、学術集会後の 30 周年記念誌の発刊予定、学術集会における展示予定について報告された。

・ 地方会（支部会）の発足について

九州支部、東北支部の設立について検討していただくこととなった。

九州支部は、平田理事より KFCN との連携をはかるため内野先生（野口病院）、織田先生（九州がんセンター）と相談予定と報告された。

東北支部は、門馬理事より来年 2 月の東北家族制腫瘍研究会世話人会で、検討予定と報告された。

以上をもって議事の全部を終了し、議長は 18 時 00 分閉会を宣した。

以上